

こんにちは!

# 村立東海病院であ



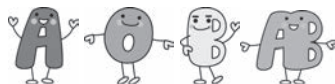
## 意外と知られていない「血液型」のお話

皆さんは自分の血液型をご存じですか。今回は、日本人にとって身近でありながら、意外と知られていない「血液型」についてご紹介します。

### 血液型と性格の話題は日本だけ？

日本人の多くが当たり前のように知っている、自分の血液型。皆さんも、「俺はO型だから、細かいことは気にしないんだ」「あの人はきちょうめんだから、A型ね」など、血液型と性格の話で盛り上がったり、「私はB型で友達はA B型だから…」と、血液型占いで相性を調べたりしたことがあるかもしれません。

しかし世界的に見ると、血液型と性格を結び付けて考えるのは、日本などごく一部の地域のようにです。日本人の血液型の割合は、A型が約40パーセント、O型が約30パーセント、B型が約20パーセント、A B型が約10パーセントですが、この割合は国によって異なります。世界ではO型が一番多く、また中南米では約90パーセント以上がO型です。このような場合には、血液型占いは話題になりそうにありません。



### 血液型の分類は300種類以上！

血液型とは、個人によって違う血液の特性を分類したものです。血液型で一般的によく知られているものに、A型、B型、O型、A B型の4つに分ける「A B O式」や、R hプラスとR hマイナスに分ける「R h式」があります。この他にもたくさんの分類があり、おおよそ300種類以上の血液型が存在します。その中で、A B O式やR h式の血液型が目されるのは、血液型占いのためではなく、医学的に大変重要だからです。

### 血液型と輸血の関係

病気でひどい貧血状態になったり、けがや手術などで急激に体内の血液が失われたりしたときや、他の治療では早急な改善が見込まれない場合には、他人の血液を点滴する「輸血」を行います。この場合、前述のA、B、O、A B、R hプラス、R hマイナスの型が合わないと、体内で血球が壊れるなどの生命に重大な危険を及ぼすこととなります。このように、輸血の際に血液型は大変重要です。



ちなみに、医療機関では輸血前に必ず、血液型検査と、患者さんと輸血する血液が適合するかの検査をします。急な大けがや大病の際に自分の血液型が分からなくても、心配はいりません。

### 血液型検査を受けたい方は

自分の血液型を知らなくても調べる必要はありません。お子さんについても同様です。特に小さなお子さんの場合、血液型を調べる際に必要な赤血球の抗体という物質の量が少ないため、正しく判定できない可能性があります。どうしても検査が必要なときは、赤血球の抗体が成人と同じくらいになる4歳以上での実施をお勧めします。その際、治療の必要がない血液型検査は健康保険の適用外のため、全額自費となりますのでご注意ください。ちなみに、16歳を過ぎれば献血ができるようになりますが、その際に血液型を無料で調べてもらうことができます。

村立東海病院 臨床検査室 臨床検査技師 金澤ゆかり

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)